

1. 各種委員会・部会報告

① 介護保険推進委員会

平成30年4月1日の改正介護保険法の施行並びに介護報酬改定の会員事業所の経営への影響について実態調査を行い、調査結果に基づき適正な介護保険制度・報酬の確立に向けて、厚生労働省・国会議員と意見交換・提言を行った。その概要については、ホームページに掲載するほか、平成31年3月25日の総会及び本会機関紙「かけはし」号外で報告した。調査結果をホームページに掲載して会員に情報提供した。

また、介護保険に関する相談窓口を設置し、県民からの介護保険制度の利用に対する相談に応じた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護保険 推進委員会 (6回)	4月3日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成29年度事業報告について 2. 平成30年度事業について ①調査研究事業 ②介護保険研修会	県老協 10名
	5月21日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業について ①調査研究事業 ②介護保険研修会	県老協 10名 県庁1名 調査会社 1名
	6月27日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業について ①調査研究事業	県老協 5名 県庁1名 調査会社 1名
	9月18日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業について ①調査研究事業	県老協 8名 県庁1名 調査会社 1名
	10月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業について ①調査研究事業	県老協 9名 デイ部会 1名 県庁1名 調査会社 1名
	1月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. 厚生労働省との勉強会について <協議事項> 1. 平成30年度事業について 2. 平成31年度事業について	県老協 9名 県庁1名 調査会社 1名
調査研究事業	介護報酬改定に伴う事業所運営への影響に関する調査			
平成30年 介護報酬改定 にともなう加 算取得方法に 関する研修会	5月21日	1. 『特別養護老人ホーム・ショートステイについての加算取得方法』 介護保険推進委員 宝塚栄光園 施設長 赤井祐氏 2. 『デイサービスセンターについての加算取得方法』 デイ部会委員 デイサービスセンターなごみの郷 施設長 渡邊拓郎氏	187名	

② サービス評価委員会

会員特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に、本年度は評価 12 施設、再評価 2 施設を訪問し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書にまとめ一般に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
班長会議	4 月 20 日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サービス評価事業について <ul style="list-style-type: none"> ・班長の役割について ・タイムスケジュールについて ・委員心得について 2. 平成 30 年度のサービス評価事業のあり方 <ol style="list-style-type: none"> ①委員名簿・班構成 ②平成 30 年度サービス評価事業実施予定施設 ③今年度のすすめ方 <ul style="list-style-type: none"> ・実施施設説明会 ・再評価実施施設説明会 ・委員勉強会 3. 平成 31 年度サービス評価事業実施予定施設 4. サービス評価希望項目について 5. 平成 29 年度サービス評価事業報告書について <ul style="list-style-type: none"> ・よい事例 ・特徴的なサービス事例 	4 名
実施施設説明会	7 月 25 日	神戸市立婦人会館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施施設の紹介 2. 概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施要綱 ・サービス評価委員名簿 ・当日タイムスケジュール <p>【事前提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設データ ・職員状況（常勤・非常勤、男女） ・利用者の状況 ・サービス評価希望項目 <p>【実施後提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施施設所感文 ・サービス評価事業総括票 <ol style="list-style-type: none"> 5. 実施視察日程について 6. 質疑応答 	12 施設 26 名
再評価・実施施設説明会	7 月 25 日	神戸市立婦人会館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施施設の紹介 2. 概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 再評価事業のあり方について 5. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施要綱 ・サービス評価委員名簿 ・当日タイムスケジュール <p>【事前提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設データ ・職員状況（常勤・非常勤、男女） 	2 施設 4 名

			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況 ・サービス評価希望項目 【実施後提出資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス評価事業実施施設所感文 ・サービス評価事業総括票 6. 実施視察日程について 7. 質疑応答	
サービス評価委員勉強会	8月13日	県福祉センター	1. 委員・事務局紹介 2. サービス評価について 3. サービス評価の意義と活用 4. 実施日並びにタイムスケジュールについて 5. 事前資料（現状・課題）の確認方法 6. 報告書の作成について 7. 委員の心得について 8. 『サービス評価事業の意義と活用』 関西福祉科学大学 社会福祉学部長 津田耕一氏 『受審施設の最近の動向について』 関西福祉科学大学 社会福祉学部社会福祉学科 助教 種村理太郎氏 9. 各職種別意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・各評価項目確認について統一すべきポイント ・実施視察において統一すべきポイント 	22名
評価事業実施施設	9月～2月	各実施施設	緑風の郷、地域密着型洲本たちばなプラス、こころ広畑、グリーンハウス、地域密着型フロイデ滝野、平生園、サンホーム大庄西、Les 芦屋、地域密着型ほほえみ、志深の苑、ライフサポートひめじ、宝塚すみれ栄光園、和寿園 （サービス評価実施報告書参照）	評価 11施設 再評価 2施設
総括会議	3月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度サービス評価事業について ①平成30年度サービス評価事業公表まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的なサービス事例 ・実施施設「良い現状」事例 ・実施施設全体の総評（班長） 	21名
発行物	「サービス評価事業報告書-平成30年度版-」 （部数）冊子 800部（配布先）会員施設・関係団体			

③ 調査研究委員会

外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律が公布され、今後、公布日から1年以内の施行に向けて、順次新たな技能実習制度に移行される。今回、対象職種に介護職が加えられたことに伴い、兵庫県でも、各施設で外国人技能実習生の受け入れが検討、開始されると予想される。

平成30年度は、『外国人技能実習制度』をテーマにヒアリングを行い、座談会を開催し、冊子作成について協議した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
調査研究 委員会 (4回)	7月11日	県福祉センター	<協議事項> 1. ヒアリング結果について 2. 冊子レイアウトについて 3. その他	10名
	9月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. 濱田委員長講演 2. その他	9名
	11月7日	県福祉センター	<協議事項> 1. 冊子作成について 2. その他	7名
	1月28日	県福祉センター	<協議事項> 1. 冊子作成について 2. その他	8名
座談会	1月17日	県福祉センター	1. 座談会	8名

④ 編集委員会

会員施設が実施している事業やサービスの内容等を広く県民に情報発信するとともに、会員相互の情報や意見の交流を目的とした機関紙「かけはし」を3回発行・配布し、併せてホームページ上に掲載した。

なお、第101号は「福祉避難所」、第102号は「介護の日イベント」を特集し発行した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
編集委員会 (3回)	7月10日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成29年度事業報告について <協議事項> 1. 平成30年度事業計画について 2. 平成30年度事業スケジュールについて 3. かけはし100号について 4. かけはし101・102号について 5. その他	8名
	11月28日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし101号について 2. かけはし102号について 3. 平成31年度事業計画について 4. その他	8名
	3月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし102号について 2. 平成31年度事業計画について 3. その他	6名
発行物	「かけはし」 100号・101号・102号 (部 数) 2,000部 (時 期) 8月・12月・3月 (配布先) 会員施設、関係団体			

⑤ ケアプラン委員会

本年度は、ケアプラン作成担当者を対象に「包括的自立支援プログラム」の浸透を図るべく、基礎研修会を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 委 員 会 (5回)	5月9日	原田の森 ギャラリー	<報告事項> 1. 平成29年度事業報告(案)について 2. 平成30年度事業計画(案)について <協議事項> 1. 平成30年度事業スケジュールについて ①研修内容の確認 ②研修日の調整 ③講義担当者の調整 2. その他	10名
	6月7日	県福祉センター	<協議事項> 1. 研修内容の確認 2. 研修日の調整 3. その他	10名
	8月10日	県福祉センター	<協議事項> 1. 研修内容の確認 2. その他	8名
	1月24日	県福祉センター	<報告事項> 1. 東播磨・淡路・姫路・但馬 ブロック研修アンケート結果 <協議事項> 1. ケアプラン基礎研修会について 2. 平成31年度事業計画について 3. 委員改選について 4. その他	7名
	3月19日	県福祉センター	<協議事項> 1. 研修会事例について 2. 実態調査アンケート内容について 3. その他	7名
ケアプラン 基礎研修 (2回)	9月26日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームシルバーコースト甲子園 梶本洋平氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 演習 特別養護老人ホームこぶし園 竹内幸一氏 講義③『研修の総括』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	40名

	10月17日	和田山 ジュピターホール	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホーム瀬戸内ホーム 森安志津雄氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 演習 特別養護老人ホームこぶし園 竹内幸一氏 講義③『研修の総括』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	24名
ブロック ケアプラン 研修会	ブロック	実施日	場 所	参加人数
	東播磨	12月6日	小野市うるおい交流館エクラ	22名
	姫路	9月25日	姫路商工会議所	9名
	但馬	12月13日	但馬長寿の郷	11名
	淡路	11月15日	洲本市健康福祉館	32名
委員派遣 事業	9月25日	姫路商工会議所	【姫路ブロックケアプラン研修会】 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	
	12月6日	小野市うるおい 交流館エクラ	【東播磨ブロックケアプラン研修会】 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	
	3月20日 3月21日 3月26日	特別養護 老人ホーム 桜谷荘	【桜谷荘ケアプラン研修会】 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	

※ 8月24日 姫路市勤労市民会館にて開催予定のケアプラン基礎研修会は悪天候の為中止

⑥ 研修委員会

会員事業所のニーズに沿いながら、職員・施設長を対象にサービスの質の向上等、専門的かつ充実した内容の研修を企画開催した。特に職員研修においては「生きるを支えるケア～ケアを疑ってみる 考えてみる」をテーマで実施した。施設長研修会は、「ノーリフティングケア」を中心としたテーマで開催した。また、職員向けに終末期対応向上研修を2回開催し、広く県民参加型の終末期ケア普及フォーラムを実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修委員会 (4回)	4月17日	神戸市総合福祉センター	<報告事項> 1. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 2. H29年度終末期ケア普及フォーラムについて <協議事項> 1. 平成30年度事業計画について ・職員研修 ・施設長研修 ・介護職員等の終末期対応向上研修会 ・終末期ケア普及フォーラム	8名
	6月27日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について <協議事項> 1. 平成30年度事業計画について ・職員研修 ・施設長研修 ・介護職員等の終末期対応向上研修会 ・終末期ケア普及フォーラム 2. 謝金規程について	9名
	9月10日	兵庫県のじぎく会館	<協議事項> 1. 施設長研修会委託旅行社について	7名
	1月18日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 2. 介護職員等の終末期対応向上研修会1回2回について 3. 職員研修会について 4. 終末期ケア普及フォーラムについて <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 3. 謝金規程について 4. 平成31年度事業計画について	8名
介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験	8月18日	県福祉センター	模擬試験 講師による模擬試験ポイント解説 笠松町地域包括支援センター センター長 荒木篤氏	総数 36名 (会員34名 非会員 2名)

施設長 研修会	2月13日 ～14日	ホテルクラウン パレス神戸	<p>【1日目】 基調報告 一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳</p> <p>行政説明① 『テクノロジーの活用による介護現場の 革新を目指して』 厚生労働省老健局高齢者支援課 課長補佐 田口勲氏</p> <p>講演① 『高知県のノーリフティングケアの取組みにつ いて』 高知県地域福祉部地域福祉政策課 福祉・介護人材対策室 主幹 茅野優子氏</p> <p>講演② 『ノーリフティングケアのすすめ』 特別養護老人ホームいやさか苑 施設長 田上優佳氏</p> <p>行政説明② 『兵庫県の介護ロボット導入支援の取組み ～「現場の声」に見る介護ロボットへの期待～』 兵庫県健康福祉部高齢政策課 主幹（高齢施設担当）大野桂氏</p> <p>【2日目】 行政説明③ 『社会福祉法人の指導監査について』 兵庫県健康福祉部法人指導室 室長 上西真一氏</p> <p>講演③ 『介護保険制度の今後の状況～制度改正と報酬 改定を先読みする』 北海道介護福祉道場・あかい花 代表 菊地雅洋氏</p>	109名
職員研修会	10月30日	兵庫県私学会館	<p>講義 『“生きる”を支えるケア～今のケアを疑って みる 考えてみる～』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 備酒伸彦氏</p>	52名
介護職員等 終末期ケア 対応向上 研修会 (2回)	9月10日	兵庫県のじぎく 会館	<p>講義 『「看取り」へのかかわり方 ～人生の最 終段階に寄り添う～』 一般社団法人姫路市医師会 地域医療連携室長 田中美佐子氏</p>	65名
	10月4日	県福祉センター	<p>講義・演習 ①医療モデルから生活モデルへ ②生活の場で看取るための準備 ③【実践】生活の場のターミナルケア 特別養護老人ホーム マナーハウス麻溝台 教育担当部長 高口光子氏</p>	101名

<p>終末期ケア 普及 フォーラム</p>	<p>12月23日</p>	<p>兵庫県民会館 けんみんホール</p>	<p>特別講演 『住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるために～永源寺の地域まるごとケア～』 東近江市永源寺診療所 所長 花戸貴司氏</p> <p>シンポジウム 『終末期における多職種連携』 ・シンポジスト 永源寺診療所 所長 花戸貴司氏 兵庫県医師会 理事 三浦一樹氏 兵庫県看護協会立尼崎訪問看護ステーション 係長 東根聖子氏 兵庫県介護支援専門員協会 会長 垣内達也氏 特別養護老人ホームいやさか苑 施設長 田上優佳氏 兵庫県健康福祉部高齢政策課 課長 津曲共和氏</p> <p>・座長 兵庫県医師会 常任理事 橋本彰則氏</p>	<p>218名</p>
-------------------------------	---------------	---------------------------	--	-------------

⑦ 介護人材確保推進委員会

介護のやりがい、素晴らしさを啓発するため、中学生向けのリーフレットを増刷し、推進施設の協力の下、県下中学・高校等へ出前授業を実施した。また、人材確保を図るため、介護福祉士養成校での就職出前プレゼンテーションの開催や、当会のHPの求人情報の発信機能を強化する等、県と連携を図りながら介護業務のイメージアップの推進を図った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
<p>介護人材 確保推進 委員会 (8回)</p>	<p>4月25日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項> 1. 平成30年度事業について ①職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③リーフレットについて ④介護技術コンテストについて ⑤HPについて ⑥その他</p>	<p>7名</p>
	<p>6月26日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><報告事項> 1. 就職出前プレゼンテーション (6/15 関西保育福祉専門学校) 2. リーフレットの送付について <協議事項> 1. 平成30年度事業について ①職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③リーフレットについて ④介護技術コンテストについて ⑤HPについて ⑥その他</p>	<p>8名</p>

	7月23日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職出前プレゼンテーション (7/11 神戸リハビリテーション福祉専門学校) 2. リーフレットの送付について <p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業について ①就職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③介護技術コンテストについて ④HPについて ⑤予算要望について ⑥その他 	9名
	8月29日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業について ①就職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③介護技術コンテストについて ④HPについて ⑤予算要望について 	7名
	10月12日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業について ①就職出前プレゼンテーションについて ②HPについて (会員ログインID・パスワード変更) ③介護技術コンテストについて ④その他 	8名
	12月17日	県福祉センター	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護技術コンテストについて 2. 就職出前プレゼンテーションについて (12/4,5 大原医療福祉&スポーツ保育専門学校) <p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イメージアップ推進員派遣事業について 2. リーフレット増刷について 3. HPについて 4. 平成31年度事業計画について 5. その他 	8名
	2月1日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イメージアップ推進員派遣事業について 2. 平成31年度事業計画について ①就職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③リーフレット・DVDのリニューアルについて ④介護技術コンテストについて 3. HPについて 4. その他 	7名

	3月18日	兵庫県民会館	<報告事項> 1. イメージアップ推進員派遣事業について <協議事項> 1. 平成31年度事業計画について ①就職出前プレゼンテーションについて ②イメージアップ推進員派遣事業について ③介護技術コンテストについて ④リーフレット・DVDのリニューアルについて 2. HPについて 3. 介護技術コンテストについて 4. その他	9名
DVD・リーフレットリニューアル会議	2月26日	県福祉センター	<協議事項> 1. リニューアルについて 2. リニューアルのタイムスケジュールについて 3. 仕様書作成について	22名
イメージアップ推進員派遣	6月～3月	各小・中・高等学校、団体	介護の魅力を伝えるため、推進員を派遣 (阪神) 立花小学校、神津小学校、成良中学校有志、鳴尾中学校、鳴尾南中学校、真砂中学校、深津中学校、瓦木中学校、山手・潮見・精道中施設体験有志、西中学校、清和台中学校、潮見中学校、宝塚東高等学校2年生、宝塚東高等学校3年生 (東播磨) 別府西小学校、平岡北小学校、東神吉南小学校、平荘小学校、浜の宮中学校、西脇中学校、西脇南中学校、西脇東中学校、黒田庄中学校、志染中学校、滝野中学校、多可高等学校(4回)、三木東高等学校、吉川高等学校(3回)、西神戸高等特別支援学校 (姫路) 城陽小学校、林田小学校、谷外小学校、勝原小学校、高浜小学校、高丘中学校、花田中学校、白鷺中学校、城乾中学校、朝日中学校、林田中学校、山陽中学校、飾磨中部中学校、飾磨西中学校、広畑中学校、書写中学校、播磨高等学校、太子高等学校、網干高等学校、賢明女子学院高等学校 (西播磨) 石海小学校、八千種小学校、田原小学校、高岡小学校、福崎小学校、上津中学校、上月中旬学校1年生、上月中旬学校2年生、神崎高等学校、みかしほ学園日本栄養専門学校、赤穂市民生委員児童委員協議会 (但馬) 清滝小学校、高柳小学校、浜坂中学校、村岡中学校、城崎中学校、港中学校、八鹿青溪中学校(3回)、大屋中学校、養父中学校、生野高等学校(3回)、こうのとり荘地域ふれあい交流会 (丹波) 山南中学校、柏原中学校、和田中学校、青垣中学校、春日中学校、市島中学校、氷上中学校 (淡路) 津名中学校、由良中学校、南淡中学校、洲浜中学校、岩屋民生児童委員協議会、すいせんホーム地域住民	80校 4団体

出前 プレゼン テーション	6月～12月	各 介護福祉士養成校	関西保育福祉専門学校 ハーベスト医療福祉専門学校 神戸リハビリテーション福祉専門学校 大原医療福祉&スポーツ保育専門学校	4校 5回
介護技術 コンテスト	11月3日	ホテルクラウン パレス神戸	特別養護老人ホーム 明石愛老園 村上智嵩氏 特別養護老人ホーム あさなぎ 北川千夏氏 特別養護老人ホーム あそか苑みずほ 日下由美子氏 特別養護老人ホーム 西長洲荘 嵐田隆行氏 デイサービスセンター しかまの里 道下友貴氏 特別養護老人ホーム 千鳥会ゴールド 田淵徳康氏 特別養護老人ホーム 姫路・勝原ホーム 森優輝氏 特別養護老人ホーム 宝塚まどか園 恒松和毅氏 特別養護老人ホーム しあわせ荘 藤田美保氏 特別養護老人ホーム けま喜楽苑 池川由佳氏 特別養護老人ホーム グリーンハウス 諸喜田清氏	184名
パソコン 研修	9月12日	兵庫県庁	研修『初歩からのパソコン活用研修』	5名
	1月16日	兵庫県庁	研修『実務者のためのExcel活用』	13名
介護業務イ メージアッ プ啓発ツ ール作成	リーフレット：5万枚 「介護の仕事ってスゴイ！」 配布先：県内中学校（新中学1年生）、県内ハローワーク等			
求職支援の 周知ツ ールの作 成	チラシ：10万枚「ひょうご介護求人ネット」 配布先：近畿圏学校・県内地域包括・県内ハローワーク・県内関係団体等			

⑧ 養護部会

介護保険施設として、様々な外部サービスを活用出来る可能性とともに、ケアできる介護度の幅も広がり利用者の自立支援に向けて、ソーシャルワーク機能の実践を基盤とした養護老人ホーム独自の役割・機能・ケアの在り方、地域包括ケアシステムについても、部会・研修会を通じて学び、会員施設からの意見・提案・課題にも応えた。

また、会員施設の現状分析として利用者の状況調査を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 (4回)	5月23日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成30年度事業計画について 2. 平成31年度予算対策について	3名
	7月18日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成30年度事業計画について 2. 平成31年度予算対策について	4名
	9月1日	葺合文化センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業計画について 2. 平成31年度予算対策について	3名

	1月22日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成30年度事業計画について 2. 平成31年度事業計画について	3名
第1回 職員研修会	9月1日	葺合文化 センター	講義 取材から見えてきた！知って欲しい「認知 症対策」 NHK科学・環境番組部 チーフ・ディレクター 青柳由則氏	53名
第2回 職員研修会	12月5日	県福祉センター	講義 『高齢者福祉施設に求められるリスクマネ ジメント』 関西福祉科学大学社会福祉学科 教授 吉田初恵氏	42名
施設長 研修会	1月31日	県福祉センター	講義 『兵庫県内の養護老人ホームの動向』 ～県の補助金、指導・監査の状況等を中心に～ 兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課 介護基盤整班主幹 大野桂氏 講義 『養護老人ホームの将来像私見』 社会福祉法人 宝山寺福祉事業団理事長 梅寿荘施設長 辻村泰範氏	31名
施設長会	1月31日	県福祉センター	議案 『養護部会次期部会長（理事候補者）・副部会長（運 営委員）、部会役員選出に関する件』	24名 （うち、 出席：18 名 委任状： 6名）

⑨ 軽費・ケアハウス部会

調査研究として、部会委員施設が特定施設入居者生活介護を取得した場合の収支の変化を試算し、取得することのメリットや課題などを整理し、施設長研修会で「もし、うちのケアハウスが 特定施設入居者生活介護を取得したらどうなる？」を報告した。また、実際に取得したケアハウスによる事例発表を聞き、情報交換会を開催した。

職員研修会では、「多職種連携に求められるコミュニケーションスキルアップ研修会：TRUE COLORS 入門講座」を開催し、対人援助職としての研鑽の場とした。

軽費老人ホーム事務費補助金の予算確保について、引き続き県に予算要望を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
軽費・ ケアハウス 部会 (3回)	6月25日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成29年度事業報告について <協議事項> 1. 平成30年度事業スケジュールについて 2. 平成31年度予算要望について 3. 各種研修会・研究事業について	5名
	10月3日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成30年度事業スケジュールについて ・職員研修会 ・施設長研修会 2. 調査研究について	5名

	12月19日	県福祉センター	<協議事項> 1. 調査研究について 2. 平成30年度施設長会について 3. 平成30年度施設長研修会について 4. 平成31年度事業計画について	5名
職員研修会	9月14日	県福祉センター	講義『多職種連携に求められるコミュニケーションスキルアップ研修会：TRUE COLORS 入門講座』 佛光大学 保健医療技術学部 看護学科 教授 松岡千代氏	30名
施設長研修会	2月27日	県福祉センター	部会報告『もし、うちのケアハウスが 特定施設入居者生活介護を取得したらどうなる？』 軽費・ケアハウス部会 部会長 澤村安由里 事例報告『特定をとるにあたって』 ケアハウス清和苑ゆうハウス 施設長 東井多賀代氏 情報交換会	19名
施設長会	2月27日	県福祉センター	議案 『軽費・ケアハウス部会運営内規改定について』 『次期役員改選について』	51名 (うち、出席：12名 委任状：39名)

⑩ デイ部会

介護保険事業所としての会員の現状と今後の動向や課題等の把握を基本とし、選ばれるデイサービスとなるための事業所の経営、運営、サービスの質の維持、向上について部会で検討し、情報発信を行うとともに、ニーズに添ったテーマにおいて、会員事業所が情報を共有する機会として研修会を企画、実施した。

また、介護保険事業の現状と課題を整理し、兵庫県等への提言・要望を介護保険推進委員会と連携し実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
デイ部会 (3回)	5月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成29年度事業報告について 2. 平成30年度事業計画について <協議事項> 1. 研修会資料について 2. アンケートについて 3. 各種研修会について 4. その他	7名
	10月22日	兵庫県民会館	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 各種研修会のテーマについて 3. その他	6名
	12月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. 役員改選について 2. 31年度事業計画について 3. 会員事業所の休止・事業縮小の調査について 4. その他	6名

職員 研修会 (3回)	8月16日	県福祉センター	講義『Barthel Indexについて』 神戸国際大学 教授 大谷啓尊氏	53名
	10月22日	兵庫県民会館	講義『デイサービスにおける 自立支援とアセスメント』 特別養護老人ホームさんすい園 施設長 前川嘉彦氏	36名
	1月18日	兵庫県民会館	講義『現場職員のモチベーションUPについて』 株式会社QOLサービス 代表取締役 妹尾弘幸氏	50名
管理者 研修会	2月5日	県福祉センター	講義『組織を活性化するコーチングとは』 株式会社ふくなかまジャパン 代表取締役 眞辺一範氏	53名
管理者会	2月5日	県福祉センター	議案 1. 役員改選について	139名 (うち、出席：20名 委任状：119名)

2. 情報発信事業

本会が実施している事業並びに会員の老人ホーム等が実施している事業やサービス内容等を会員及び広く県民に情報発信することを目的に、下記報告書等を発行するとともに、本会ホームページ上で公開した。

事業名	時期	配布先	内容	部数
かけはし	8月・12月 2月・3月	会員事業所 関係団体等	かけはし100号～102号を発行し、会員施設並びに関係団体へ配布し、併せてホームページ上に掲載した。	各 2,000部 101号号外 1,500部
サービス評価 事業報告書	年1回	会員事業所 関係団体等	自己評価支援を行った12施設と再評価2施設の客観的な評価結果を報告書にまとめ、広く会員施設並びに関係団体、一般に配布した。	800部
介護業務イメージアップDVD・パンフレットの作成・配布	随時	県内新中学 1年生校等	介護業務に対するイメージをアップするためのパンフレットを作成し、中学校等に配布した。	パンフレット 5万枚
ホームページの運用	随時	本会 ホームページ	会員事業所に介護保険情報等の各種情報をタイムリーに提供するとともに、広く県民にも本会の事業内容、会員事業所情報、求人情報等を公開した。	随時
求職支援の周知ツールの作成	1回	近畿圏学校 地域包括 ハローワーク 関係団体等	広く県民に本会会員事業所の求人情報を周知した。	チラシ 10万枚

3. 国・県への政策提言・関係諸団体との連絡事業

行政・各関係団体との連携を図るとともに、予算対策活動を実施した。

事業名	実施日	提出先	事業内容	参加人数
国・県予算 対策事業 (要望書の提出)	10月2日	県庁	兵庫県に対し、介護人材の確保・育成についてなど平成31年度予算に向け要望を行った。	9名
	10月2日	県議会	兵庫県議会に対し、介護人材の確保・育成についてなど平成31年度予算に向け要望を行った。	9名
	9月21日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、介護人材の確保・育成についてなど平成31年度予算に向け要望を行った。	2名
要望書に対 する回答会	2月20日	県庁	平成31年度予算要望について兵庫県より回答を受けるとともに、意見交換を行った。	9名
	3月15日	自由民主党県連	自由民主党県連より平成31年度政策要望に係る回答を受けるとともに、意見交換を行った。	2名
次期介護報酬改定に向けての経営実態調査分析結果に基づく意見交換	12月11日 ～12日	厚生労働省 関係国会議員	『次期介護報酬改定に向けての経営実態調査分析結果に基づく意見交換』 (面談者) 厚生労働大臣 根本匠氏 厚生労働省老健局長 大島一博氏 厚生労働省老健局長関係各課 自由民主党総務会長 加藤勝信氏 自由民主党厚生労働部会長 小泉進次郎氏 元自由民主党厚生労働部会長 橋本岳氏 元厚生労働大臣 田村憲久氏 衆議院議員 関芳弘氏 谷公一氏 大串正樹氏 山田賢司氏 松本剛明氏 山口壯氏 参議院議員 末松信介氏 石田昌宏氏 内閣総理大臣補佐官 衛藤晟一氏 要望書提出 他多数 ※かけはし 号外により状況報告	12名

4. その他の事業

① 地域サポート型施設推進事業

今年度より兵庫県が新たに「地域サポート施設知事認定制度」を開始することを受けて、説明会を開催し、さらに次年度に向けての説明会を新制度下の認定事業所の事例報告を交えて開催した。情報交換会では、地域における公益的な取組みについて、各事業所の取り組みの現状や課題について意見交換をした。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
委員会 (2回)	7月5日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成29年度事業報告について <協議事項> 1. 平成30年度事業計画について ①委員会開催について ②研修会について ③情報交換会について 2. 平成31年度予算要望について	9名
	7月25日	県福祉センター	<協議事項> 1. 地域サポート施設認定制度について 2. 平成30年度各種研修会について ①第1回研修会 ②第2回研修会 ③情報交換会について 3. 平成31年度予算要望について	8名

研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修会 (2回)	8月30日	兵庫県中央労働センター	行政説明 「地域サポート施設の知事認定制度について」 兵庫県健康福祉部高齢政策課 課長 津曲共和氏 兵庫県健康福祉部高齢政策課 班長 森山剛吏氏	67名
	1月15日	県福祉センター	行政説明 「地域サポート施設の知事認定制度について」 兵庫県健康福祉部高齢政策課 課長 津曲共和氏 兵庫県健康福祉部高齢政策課 班長 森山剛吏氏 事例発表① 特別養護老人ホームセントポーリア愛の郷 中原大輔氏 事例発表② 特別養護老人ホームあしや喜楽苑 増原統氏	35名

情報交換会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
情報交換会	11月19日	県福祉センター	「地域貢献活動について」をテーマに事業所で実施している公益的な取組みについて意見交換	28名

② 表彰・感謝事業

会員の各事業所に従事する職員等で、10年以上勤務し顕著な功績のあった者等に対して、本会定時総会において表彰した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容
表彰	6月19日	ホテルクラウン パレス神戸	10年勤続職員 192名

③ ブロック助成事業

各ブロックにおける研修実施に対し、本会からブロック研修助成金を交付した。

(平成30年度ブロック助成事業報告書参照)

④ 青年部会運営助成事業

社会福祉法人や老人福祉施設の次代を担う人材の育成を目的に設置されている青年部会の事業推進に対し、本会から事業助成金を交付した。

(平成30年度青年部会運営助成事業報告書参照)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護の日 イベント	11月3日	ホテルクラウン パレス神戸	1. 介護ロボット展示 2. 介護技術コンテスト	184名

⑤ 高齢者福祉事業に関する連絡調整事業

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
近畿老人 福祉施設 研究協議会 《奈良 大会》 への参加	7月26日 ～27日	なら100年会館他	【1日目】〔全体会〕 <情勢報告> 全国老人福祉施設協議会 副会長 峯田幸悦氏 <記念講演1> 『奈良は福祉の原点-聖武天皇・光明皇后と 行基菩薩』 奈良県立図書館情報館館長 国際日本文化研究センター 名誉教授 千田稔氏 <記念講演2> 『これからの介護事業の経営に向けて』 ～厚生労働省での経験～ マッキンゼー・アンド・カンパニー日本支社 武内和久氏 【2日目】〔分科会〕	62名
全国老人 福祉施設大 会 《北九州 大会》 への参加	11月20日 ～21日	西日本総合展示 場(新館)他 他	【1日目】〔開会式、全体会〕 <行政報告> 厚生労働省 <基調報告> 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 <記念講演> イラストレーター・俳優・小説家 リリー・フランキー氏 【2日目】〔分科会〕	13名

<p>全国老人福祉施設研究会議《北海道会議》への参加</p>	<p>10月30日 ～31日</p>	<p>札幌コンベンションセンター 他</p>	<p>【1日目】〔開会式、全体会〕 <基調報告> 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 <記念講演> 『地域をつなげるICTのあり方』 —医療・介護間に横たわる情報連携の現状と課題— 社会医療法人高橋病院 理事長・病院長 社会福祉法人函館元町会 理事長 一般社団法人元町会 代表理事 高橋肇氏 <講演> 『しあわせをつくるお菓子～“白い恋人” 石屋製菓の挑戦～』 石屋製菓株式会社/石屋商事株式会社 代表取締役社長 石水創氏</p> <p>【2日目】〔分科会〕</p>	<p>16名</p>
<p>近畿老人福祉施設協議会施設長研修会への参加</p>	<p>1月29日 ～30日</p>	<p>天王寺都ホテル</p>	<p>【1日目】 <講演Ⅰ> 『聖人から学ぶ“福祉と医療”の精神—釈迦牟尼、聖徳太子、P.F.ドラッカーに思いを馳せて—』 (宗) 和宗総本山四天王寺 執事。責任役員 (福) 四天王寺福祉事業団 常務理事 (福) 大阪府社会福祉協議会 老人福祉部会 副部会長 (福) 大阪府社会福祉協議会 養護分科会長 塚原昭應氏 <講演Ⅱ> 『次世代を見据えた社会福祉法人経営とは』 武庫川女子大学文学部 心理・社会福祉学科 教授 松端克文氏</p> <p>【2日目】 <講演Ⅲ> 『「未来の年表」人口減少日本で起きること』 ジャーナリスト 河合雅司氏</p>	<p>18名</p>

⑥ 災害支援・義援金活動

西日本豪雨、北海道胆振東部地震により被災した地域に対し、神戸新聞厚生事業団を通じて義援金を贈った。

事業名	時期	事業内容
<p>義援金活動</p>	<p>平成30年7月</p>	<p>平成30年7月発生の西日本豪雨へ義援金を贈った。 平成30年西日本豪雨義援金を神戸新聞厚生事業団あて 75,000円</p>
	<p>平成30年9月6日</p>	<p>平成30年9月6日発生の北海道胆振東部地震へ義援金を贈った。 平成30年北海道胆振東部地震義捐金を神戸新聞厚生事業団あて 75,000円</p>

5. 法人運営

法人の運営について協議するため開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
第 33 回 総会	6 月 19 日	ホテルクラウン パレス神戸	<報告事項> 平成 29 年度事業報告の件 公益目的支出計画実施報告の件 <議案事項> 第 1 号議案平成 29 年度計算書類承認の件	出席会員数 253 名 (内、委任状 出席 153 名)
第 34 回 総会	3 月 25 日	県福祉センター	<決議事項> 第 1 号議案平成 30 年度事業計画の一部変更 (案) 第 2 号議案平成 30 年度第 1 次収支補正予算 (案) 第 3 号議案平成 31 年度事業計画 (案) 第 4 号議案平成 31 年度収支予算 (案) 第 5 号議案会費規程 (案)	出席会員数 248 名 (内、委任状 出席 177 名)
第 1 回 理事会	6 月 1 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 29 年度事業報告承認の件 2. 平成 29 年度計算書類承認の件 3. 公益目的支出計画実施報告承認の件 4. 総会の議題の承認の件 5. 表彰対象者選考、決定の件 6. 新規入会事業所について <報告事項> 1. 退会事業所 2. 平成 30 年度部会・委員会構成・役割分担 3. 他団体の役割分担	出席者 理事 13 名 監事 2 名
第 2 回 理事会	3 月 5 日	県福祉センター	<決議事項> 1. 平成 30 年度事業計画の一部変更 (案) 2. 平成 30 年度収支補正予算 (案) 3. 平成 31 年度事業計画 (案) 4. 平成 31 年度収支予算 (案) 5. 会費規程 (案) 6. 総会の開催 (召集手続) 7. 災害基金運用規定の新設 (案) について 8. 新規入会事業所 <報告事項> 1. 退会事業所	出席者 理事 14 名 監事 2 名
監事監査	5 月 22 日	県福祉センター	1. 平成 29 年度事業報告について 2. 平成 29 年度決算について 3. 公益目的支出計画実施報告書について	2 名
第 1 回 正副会長 会議	4 月 10 日	県民会館	<協議事項> 1. 平成 30 年度部会・委員会構成・役割分担につ いて 2. 他団体の役割分担について 3. 事業の進め方について 4. 総会・協賛企業について 5. 会費について 6. 県委託事業等について	6 名

第2回 正副会長 会議	5月18日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成29年度事業報告 2. 平成29年度計算書類 3. 公益目的支出計画実施報告 4. 運営委員会・理事会・総会の開催 5. 表彰 6. 新規入会事業所 7. 県委託事業等について 8. 平成31年度兵庫県予算に対する要望等（県社協） <報告・依頼事項> 1. 退会事業所	6名
第3回 正副会長 会議	7月19日	県福祉センター	<協議事項> 1. 県予算要望について 2. 地域サポート施設推進事業 3. 会費の改定について 4. 県委託事業等について <報告事項> 1. ひょうご外国人介護実習センターからの報告 2. 地震被害状況 3. 兵庫県内の梅雨前線の影響に伴う大雨による被害状況	6名
第4回 正副会長 会議	8月27日	県福祉センター	<協議事項> 1. 県予算要望について 2. 会費の改定について 3. 県委託事業等について 4. その他 ・災害発生時における義援金支出について 平成30年7月豪雨災害に係る義援金 ・退会事業所について ・介護技能実習生の受入れ施設の選定について	6名
第5回 正副会長 会議	9月19日	県福祉センター	<協議事項> 1. 県予算要望について 2. 会費の改定について 3. 県委託事業等について 4. その他 ・台風21号による被害状況 ・法人指導ならびに監査指導についての県との意見交換	6名 県庁1名
第6回 正副会長 会議	10月2日	県庁	<協議事項> 1. 中国政府公務研修・企業経営者向けの訪日視察団の手配について 2. 施設における災害対策研修会講師依頼 ～神戸市介護サービス協会～ 3. 社会福祉法人明照会について	6名
第7回 正副会長 会議	11月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 県委託事業等について 3. 台風被害見舞金（熊本県老人福祉施設協議会） 4. その他 ・平成31年度 県新規事業について ・木下大サーカスのチケットの寄贈について	6名

第8回 正副会長 会議	1月23日	ホテル日航姫路	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害基金運用内規の新設について 2. 国への要望について 3. 軽費・ケアハウス施設長会の運営内規の変更に ついて 4. デイ部会の役員改選について 5. ケアプラン委員会について 6. 県からの委託事業進捗状況 	5名
第9回 正副会長 会議	2月20日	県庁	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成30年度収支補正予算(案) 3. 平成31年度事業計画(案) 4. 平成31年度収支予算(案) 5. 会費規程(案) 6. 運営委員会・理事会・総会(案) 7. 災害基金運用規程の新設(案) 8. 諸規程の変更(案) 9. 入会事業所 10. 平成30年度県委託事業 11. 軽費・ケアハウス施設長会の運営内規の変更に ついて 12. 国への要望について 	6名
第1回 運営委員会	5月25日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度事業報告承認の件 2. 平成29年度計算書類承認の件 3. 公益目的支出計画実施報告承認の件 4. 理事及び監事候補者の理事会推薦の件 5. 表彰対象者選考、決定の件 6. 新規入会事業所の件 7. 平成30年度部会・委員会構成・役割分担の承 認の件 8. 事業の進め方の件 <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 退会事業所 2. 他団体の役割分担 3. 平成30年度兵庫県からの受託事業 4. 各ブロックにおける会費の意見集約状況 5. 各部会・委員会報告・ブロック報告 	19名
第2回 運営委員会	2月26日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成30年度収支補正予算(案) 3. 平成31年度事業計画(案) 4. 平成31年度収支予算(案) 5. 会費規程(案) 6. 理事会・総会(案)の開催について 7. 災害基金運用規程の新設(案)について 8. 新規入会事業所について 9. 平成30年度県受託事業等について <p><報告・依頼事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 退会事業所 2. 各部会・委員会報告・ブロック報告 	20名

6. 受託事業等

① 福祉・介護従事者キャリアアップ研修事業（補助事業）

福祉人材確保対策事業の一環として、老人福祉施設・事業所の福祉・介護従事者のキャリアアップを支援するための県の助成制度（補助）を利用して下記研修会を実施した。

[以下再掲]

ケアプラン基礎研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 基礎研修会 (年2回)	9月26日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームシルバークースト甲子園 梶本洋平氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 演習 特別養護老人ホームこぶし園 竹内功一氏 講義③『研修の総括』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	40名
	10月17日	和田山 ジュピターホール	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホーム瀬戸内ホーム 森安志津雄氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 演習 特別養護老人ホームこぶし園 竹内功一氏 講義③『研修の総括』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	24名

※8月24日 姫路市勤労市民会館にて開催予定のケアプラン基礎研修会は悪天候の為中止

② 介護人材確保・定着支援事業（受託事業）

介護職員の確保が喫緊の課題となっている状況において、将来に不安がある仕事との意識が根強いことから、やりがいを感じ、成長できる職場として、定着して働き続ける環境の整備が必要である。このため、介護職員の介護福祉士国家資格取得を支援するため、実務者研修受講料等の助成事業を行い、介護職員の離職防止や定着を促進することで介護人材確保を図った。

研修受講料助成	65事業所 114人
---------	------------

③ 福祉・介護啓発事業（受託事業）

11月11日「介護の日」に合わせて、広く県民の方に、介護の素晴らしさを知っていただくことで、福祉・介護サービスの意義の理解や関心を一層深めていただき、福祉人材の確保へつながることを目的に、介護ロボットの展示と介護技術コンテスト実施の公開イベントを開催した。

[以下再掲]

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護の日イベント	11月3日	ホテルクラウンパレス神戸	1. 介護ロボット展示 2. 介護技術コンテスト	184名

④ 介護技術講習会の開催（受託事業）

要支援、要介護になってもできる限り住み慣れた地域で暮らせるよう、家族の介護力を高めるため、利用者家族・地域住民等県民を対象として、特別養護老人ホーム等会員事業所で介護福祉士等が講師となり介護技術の講習会を開催した。

介護技術講習会の開催（再委託）	62事業所 109回 2,893人
-----------------	-------------------

⑤ 高齢者等就労支援事業（受託事業）

高齢者等の特別養護老人ホームでの就労を促進するため、介護に関する基礎知識・技術の修得（初任者研修の受講）を支援するとともに、資格取得した高齢者等の短時間雇用を行う介護保険施設を支援する事業を実施した。

コーディネーターの配置

本会にコーディネーターを配置し、県が実施した事業について、事業のPR、事業（就労）希望者と施設とのマッチング、県と関係施設との間の連絡調整、委託契約及び実績報告のとりまとめ、実施施設への情報提供を行った。

資格取得支援	13事業所 94人
短時間雇用支援	40事業所 47人

⑥ 介護職員等の終末期対応向上研修事業（補助事業）

介護職員等を対象とした終末期の方への対応力向上を目的とする研修等を開催した。

また、超高齢者社会になり、人生の最期まで安心して地域で暮らすために、多職種間連携を共に考える機会として県民を対象とした普及フォーラムを開催した。

介護職員等終末期ケア対応向上研修会	2回
終末期ケア普及フォーラム	1回

⑦ 介護業務イメージアップ推進事業（受託事業）

介護職員の確保が困難な中、将来の担い手となる中学生・高校生・大学生やその保護者・教員に向けて介護業務の魅力を発信するとともに、未就労者に対して介護業界への参入促進を図るため、就職出前プレゼンテーション等により介護業務のイメージアップに資する事業を実施し、ICTを活用した介護人材の求人情報の発信機能を強化しHPの充実を図り、長期的な視点での介護人材確保対策を推進した。

- ・介護人材確保推進委員会 8回
- ・DVD・リーフレットリニューアル会議 1回
- ・就職出前プレゼンテーション 4校（5回）
- ・イメージアップ推進員派遣 80校 4団体
- ・介護技術コンテスト 1回
- ・パソコン研修 2回
- ・介護業務イメージアップ啓発ツール作成 リーフレット5万枚 県内中学1年生等に配布
- ・求職支援の周知ツールの作成 チラシ10万枚 県内ハローワーク等に配布

⑧ 認知症機能訓練研修(4DAS研修)事業

通所介護事業所の機能訓練指導員等に対し、認知症高齢者等の生活期リハビリテーションを充実させるため、機能訓練や行動・心理症状（BPSD）の予防について知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、認知症のアセスメント手法である「4DAS=Four-Dimensional Assessment System（フォーダス）」に基づき認知症高齢者を評価する手法を学ぶ「認知症機能訓練研修(以下4DAS研修)」を行うことにより、認知症になっても自信と誇りと尊厳をもって住み慣れた地域で生活できるよう支援することを目的とした。

[以下再掲]

研修名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
検 討 会 議	4月26日	兵庫県庁5階 会議室	テキスト第2版について 4DAS研修の講師派遣等について	4名
	5月22日	兵庫県庁5階 会議室	4DAS研修開催地域について	4名
	6月20日	兵庫県庁5階 会議室	4DAS実践研修について	4名
	8月22日	兵庫県庁5階 会議室	4DAS実践研修課題等について	4名
	9月27日	電話会議	今後の講師派遣について	3名
	10月21日	明石城公園内 会議室	4DASリーダー研修について	6名
	11月12日	兵庫県庁5階 会議室	4DAS実践について	4名
	12月20日	兵庫県庁5階 会議室	4DAS指導者研修について	4名
	3月10日	明石コワーキングス ベース会議室	4DAS実践報告会について	5名
基 礎 研 修	6月8日	のじぎく会館	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症観の転換と認知症施策 ・4DASの構成（考え方） ・4DASフローチャートを使ってみる ・4DASによるタイプの捉え方 ・4DASプログラムの実際・質疑応答 	17名
	6月17日	順心会リハビリ テーション病院		13名
	6月22日	のじぎく会館		28名
	7月3日	兵庫県民会館		18名
	7月19日	リハ支援センター		40名

	8月24日	福祉センター		14名
	10月14日	福祉センター		9名
	11月23日	三田市総合福祉保健センター		10名
	3月10日	のじぎく会館		100名
実践研修①	7月8日	順心会リハビリテーション病院	<ul style="list-style-type: none"> ・4DAS評価の実際 ・4DASのタイプの理解 ・短期目標・長期目標の考え方 ・意思決定支援 	悪天候の為中止
	7月29日	明石商工会議所		台風接近の為中止
	9月7日	のじぎく会館		20名
	9月23日	ウイズあかし		9名
	11月18日	ウイズあかし		3名
	12月9日	ウイズあかし		6名
実践研修②	9月11日	のじぎく会館	<ul style="list-style-type: none"> ・4DASプログラムの考え方 ・4DASを実践してみても ・BPSDについて ・復習 ①評価について ②目標設定について ③PDCAサイクルについて 	14名
	10月28日	福祉センター		7名
	11月18日	葺合文化センター		3名
	12月16日	葺合文化センター		5名
リーダー研修	11月27日	兵庫県民会館	<ul style="list-style-type: none"> ・実践発表とディスカッション ・4DASリーダーの役割 ・4DASリーダー名簿の兵庫県ホームページ掲載について ・提出書類の説明 	8名
	1月26日	葺合文化センター		5名
	2月3日	ウイズあかし		8名
指導者研修	3月10日	コワーキングスペース & シェアオフィス	・模擬研修講師の実践と指導	4名
事例発表会	3月24日	こうべ市民福祉センター	・北播磨事業の成果発表	34名

⑨ ひょうご介護サポーター養成研修事業（補助事業）

特別養護老人ホームや介護老人保健施設において、介護職員の確保が困難な状況を踏まえ、中高年齢層、子育てを一段落した女性、離職者等を対象に、特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護業務を1日体験する機会を提供する事により、介護現場の理解を促進するとともに、継続的に介護現場の情報提供することにより、介護職に就職の契機作りをめざした。

介護業務1日体験	33事業所 164人
----------	------------

⑩ 介護人材確保に向けた市町・団体支援事業（補助事業）

既に就労している介護職員の資質の向上を図るため、介護福祉士実務者研修等を修了した者に対し、研修費用の補助を行った。対象は県内の老人福祉施設に勤務している介護職員又は勤務しようとする介護職員とし、受講料の一部相当額を補助し、若手介護職員のフォローアップ研修の受講料の一部相当額を補助した。また、介護職員先輩エルダー養成研修事業の集約をした。

介護福祉士実務者研修等受講料補助	31 事業所 55 人
若手介護職員フォローアップ研修 受講料助成	12 事業所 18 人
介護職員先輩エルダー養成研修	14 事業所 22 人